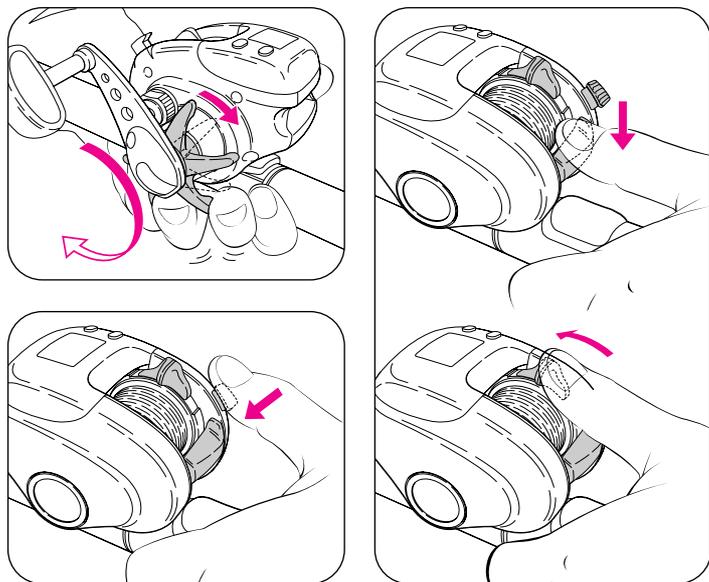
小船

300/500

このたびは、シマノデジタナＳＬＳシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。
そこで、デジタナＳＬＳ小船３００·５００では、シマノ独自のＳＬＳⅡ（シマノ・ラインプログラム・システムⅡ）を搭載。
さらに、上から棚を取る釣りと、底から棚を取る釣りに必要な水深を一目で表示する新カウンターを採用するなど、より正確な棚取りを可能にしました。
また、ＳＨＩＰ（スムース＆ハイパワーシステム）を採用し、スムースな回転、強力な巻き上げをしています。
小船３００・５００の機能をフルに引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

■特長

1 SINGLE HAND CONTROL SYSTEM（シングルハンドコントロールシステム）搭載により、片手ですべての操作が可能。

底取りクラッチ＆ちょっと出しスイッチで糸出し自由自在。
ちょっと巻きスタードラグで左手でも糸を巻くことができます。

2 ＳＨＩＰ（スムース＆ハイパワーシステム）を採用し、スムースな回転、強力な巻き上げを実現。

3 スプール回転と実測値のラインデータを内蔵したＳＬＳⅡ（シマノ・ラインプログラム・システムⅡ）。

ラインデータのインプットが、プログラマを使用せず巻いた糸の号数をセットするだけの簡単操作でＯＫです。

4 「上からモード」「底からモード」切り替えで棚の水深が一目でわかる新カウンター。

船釣りの棚の取り方は釣場、釣り方、対象魚などにより、上（水面）からの水深で棚を取る方法と、いったんシカケを底に着け、底から何ｍか巻き上げて棚を取る方法の２種類があります。上から釣る時は水面からの棚の水深、底から釣る時は底からの水深といったように、場合に応じて重要な水深を一目で表示します。

5 細糸対応スプールを装備。デュラPE（新素材）の2号までの使用が可能（３００＃）。

6 微妙な底・棚取り、スピーディな合わせに威力を発揮するスーパーストッパー。

7 リールをホールドする左サイドプレートからボルトをなくしたフラッシュサーフェスデザイン。

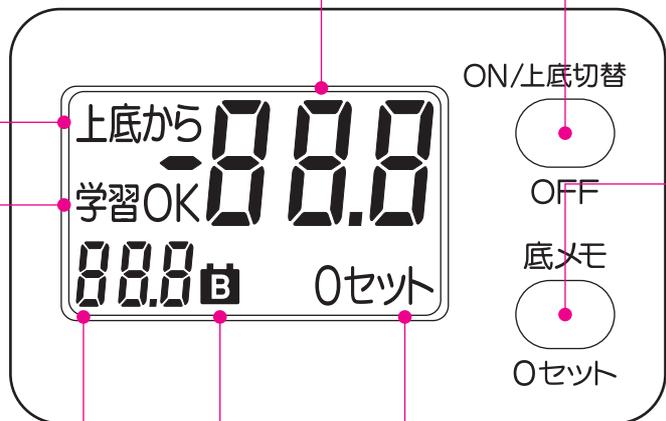
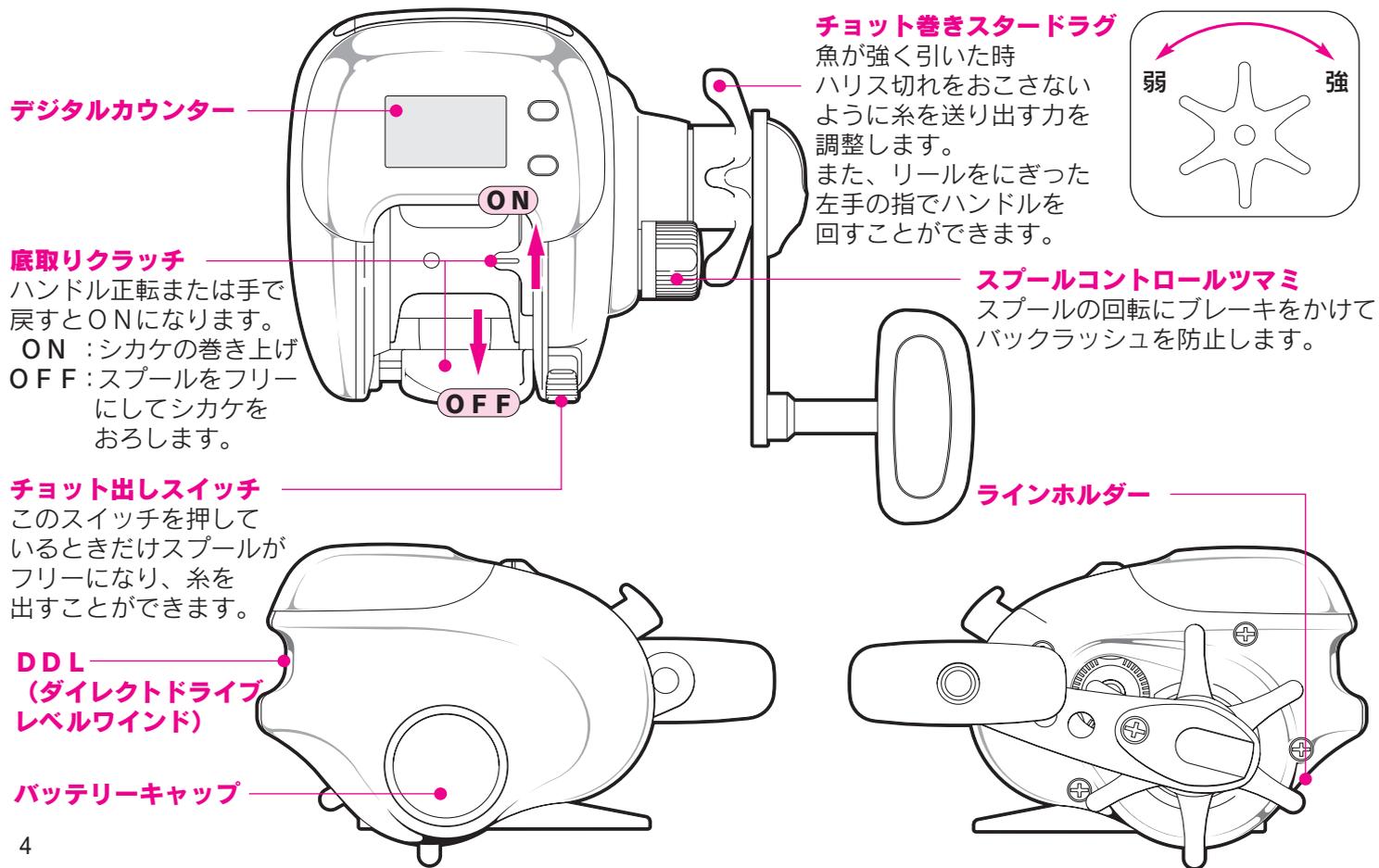
8 シマノデジタナシリーズだけの簡単操作。

●正確な水深を表示させるための０セットシステム。
●高切れをしても安心なワンタッチ高切れプログラム補正システム。
●精密な棚取りができる０.１ｍ単位のデジタル表示。
（１００ｍ以上は１ｍ単位）
●クリック付の新しいスタードラグはスムースで強力な締付力を実現。
●ファインセラミックガイドリング採用のＤＤＬ
（ダイレクトドライブレベルワインド）。
●ラインのからみにくい新設計レベルワインド。

■デジタルカウンターの各部の名称

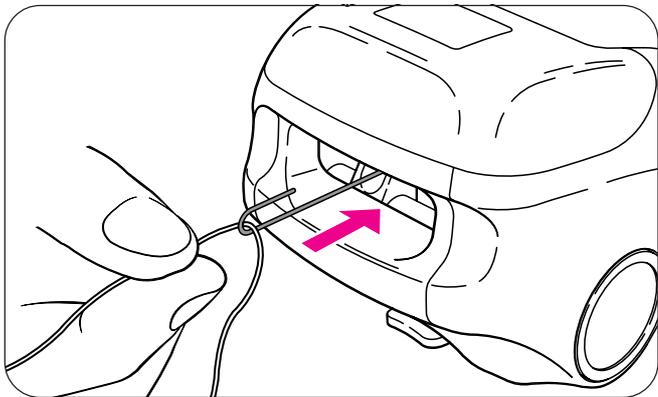
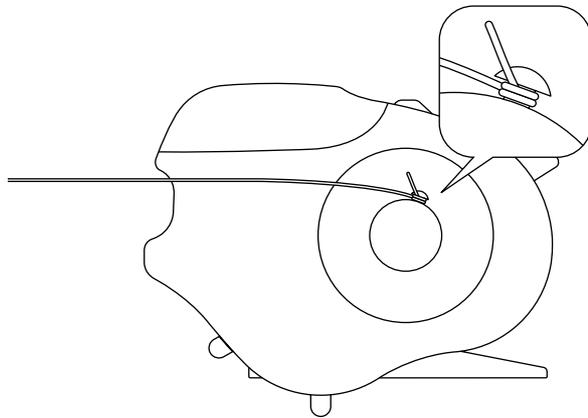
●図は説明のために液晶を全部点灯させています。

■各部の名称

デジタルカウンター
ON
OFF
底取りクラッチ
ハンドル正転または手で
戻すとＯＮになります。
ＯＮ　：シカケの巻き上げ
ＯＦＦ：スプールをフリー
にしてシカケを
おろします。
チョット出しスイッチ
このスイッチを押して
いるときだけスプールが
フリーになり、糸を
出すことができます。
ＤＤＬ
（ダイレクトドライブ
レベルワインド）
バッテリーキャップ
チョット巻きスタードラグ
魚が強く引いた時
ハリス切れをおこさない
ように糸を送り出す力を
調整します。
また、リールをにぎった
左手の指でハンドルを
回すことができます。
弱
強
スプールコントロールツマミ
スプールの回転にブレーキをかけて
バックラッシュを防止します。
ラインホルダー

■学習方法（ラインデータを呼び出して選択し、設定します。）

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、あらかじめマイコンに記憶させてあるスプール回転と糸巻量の関係を選択するしくみになっています。
操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

1 糸をセットします。

1 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルワインドに通します。

2 スプールピンに糸を結びます。

■学習方法（ラインデータを呼び出して選択し、設定します。）

2 糸を巻き、種類と長さを設定します。

このリールには使用する糸（新素材デュラＰＥ、ナイロン）と、スプール回転からの水深実測データが事前にインプットされています。（ＳＬＳ II）
使用する糸の号数は、右の表のものを使用してください。それ以外の糸の場合、カウンターの数値はあくまで目安になります。
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。（５００～８００ｇのテンションを目安にします。）
糸を巻いた後、リールのコンピュータに何を何メートル巻いたかを設定することが必要です。
※カウンターの数値と実際の糸の出た長さとでは最大で±３%の誤差が生じる場合があります。

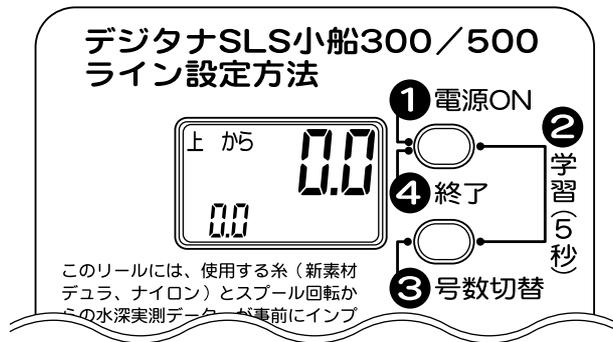
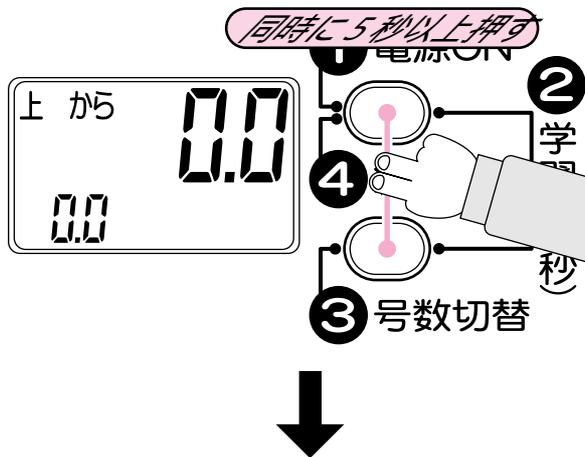
300番	500番
デュラPE 3号 100m	デュラPE 5号 100m
デュラPE 2号 100m (スプールライン)	デュラPE 4号 100m (スプールライン)
デュラPE 2号 150m	デュラPE 4号 150m
デュラPE 2.5号 120m	デュラPE 3号 180m
ナイロン 3号 120m	ナイロン 5号 130m
ナイロン 4号 100m	ナイロン 6号 100m

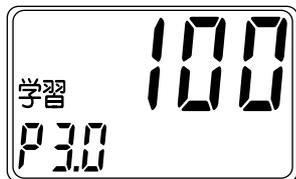
注意：
３００番のデュラＰＥ２号１００m、５００番のデュラＰＥ４号１００mはスプールラインまで下巻する必要があります。上記以外の糸の場合カウンターの数値はあくまで目安になります。
他社ＰＥ及びナイロン糸使用の場合、誤差が３%を超えて生じる場合があります。

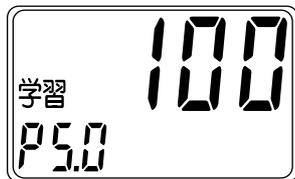
1 ＯＮ／上底切替ボタンを押します。

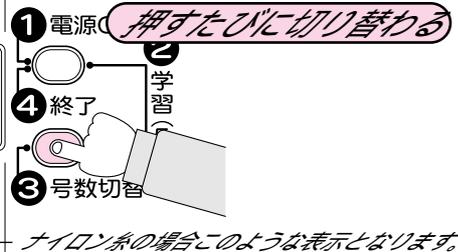
液晶画面は下のようになります。
※ＯＦＦする場合はこのボタンを３秒以上押し続けてください。
また、３０分以上リールを動かさなければ自動的にＯＦＦになります。

2 付属のプログラムプレートをあてます。

（これを使用すれば確実な操作が可能ですが、なくても設定できます。）

3 終了と号数切替ボタンの２個を同時に５秒以上押します。

すると液晶画面は下図のようになります。

３００番の場合…

デュラＰＥ３号を１００m巻いたことを示します。

５００番の場合…

デュラＰＥ５号を１００m巻いたことを示します。

4 号数切替ボタンを押すと巻く糸とその長さが表の順で切り替わって表示されます。
リールに巻かれた糸とその長さに合わせて下さい。

5 その後、終了ボタンを押してください。
「学習ＯＫ」が表示されて終了です。液晶画面は自動的にもとに戻ります。

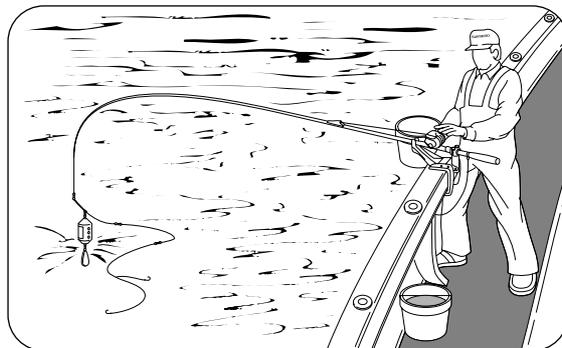
■０（ゼロ）セットの設定（釣りを始める前に必ず行なってください。）

3 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。

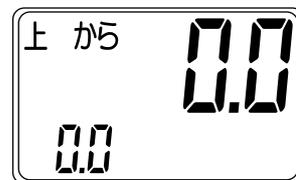
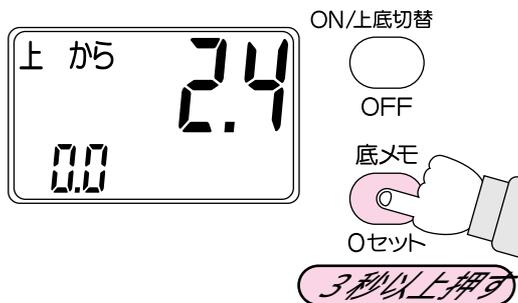
そこで「０セット」を設定します。

「０セット」とは、シカケが水面にある時を０ｍとして設定します。

「０セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。

シカケが水面にある時を０ｍとして設定します。

1 シカケを水面に合わせ、底メモ・０セットボタンを３秒以上押して下さい。

2 下図のように表示が変わります。ＯＫ表示が点灯します。

3 これで０セットは完了です。

■0（ゼロ）セットについて

4 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。
次に糸を出すと、マイナス表示からプラス表示へと変化します。

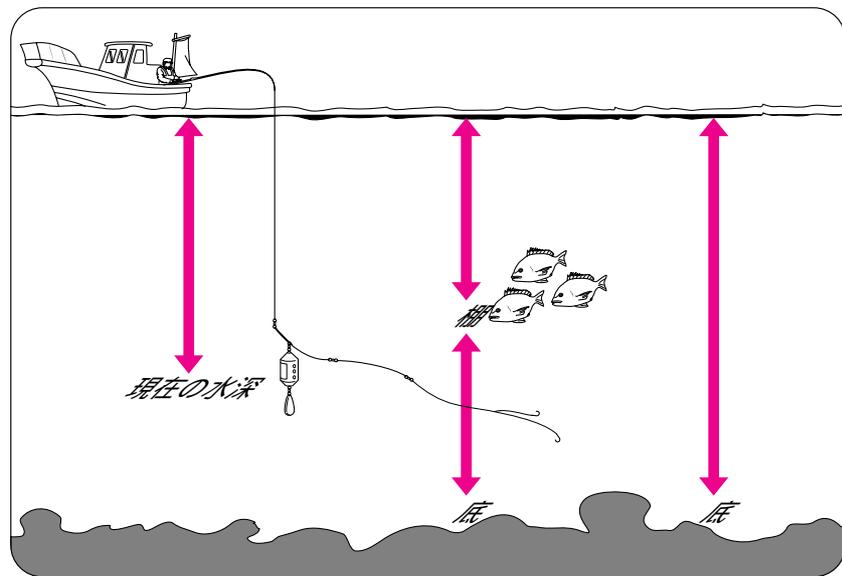
注意：
新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

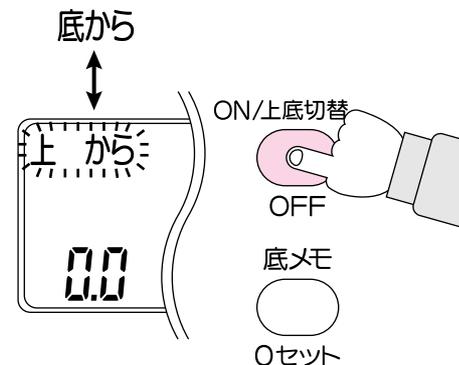
5 高切れした場合。

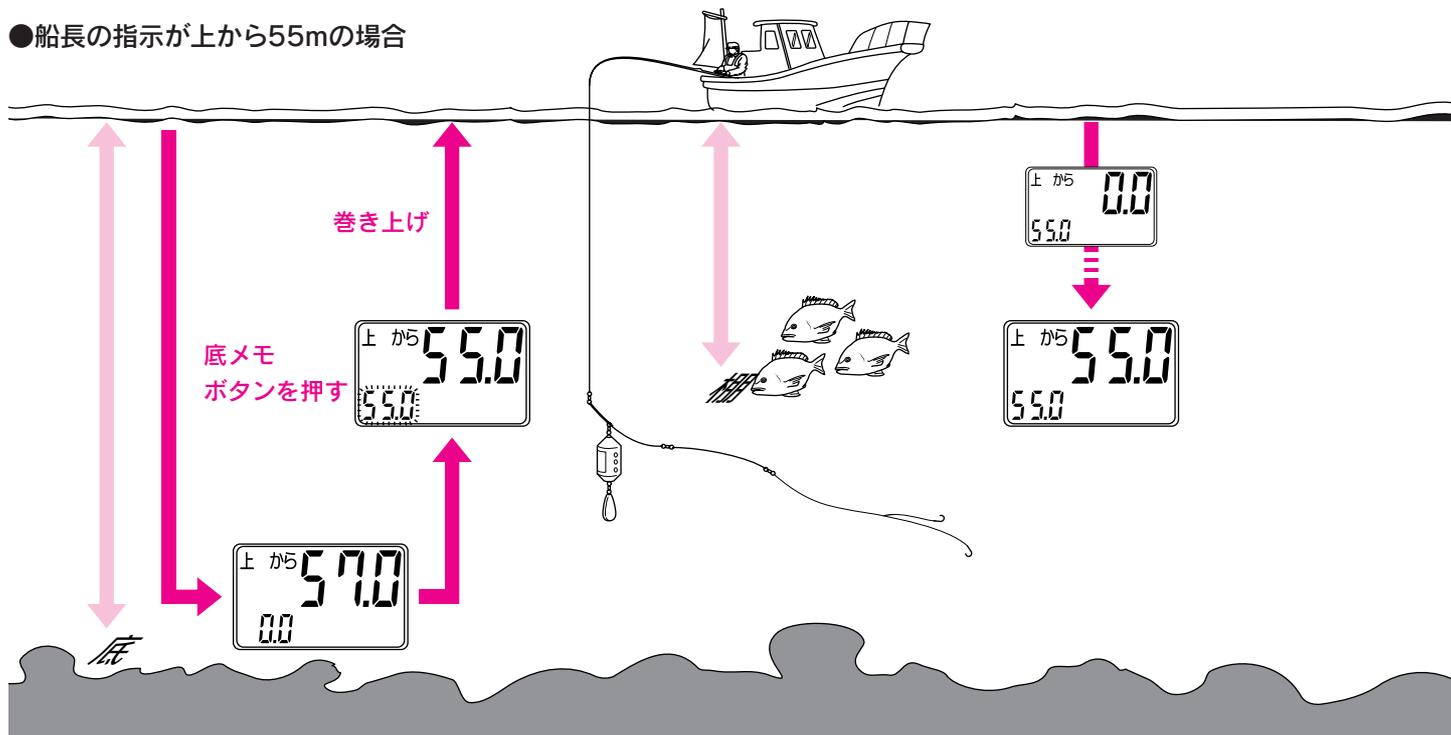
高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度4の1、2の順で0セットを行なってください。
これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

■２通りの棚の取り方・上からモードと底からモード

6 棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。
最近は高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。通常、船長がこの棚を教えてくれます。
この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。
ＮＥWデジタナＳＬＳ小船３００・５００は、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と底から棚をとるのに便利な「底からモード」の２つのモードを備えています。
その日の釣りに合わせて切り替えてご使用ください。

モードの切り替え方法

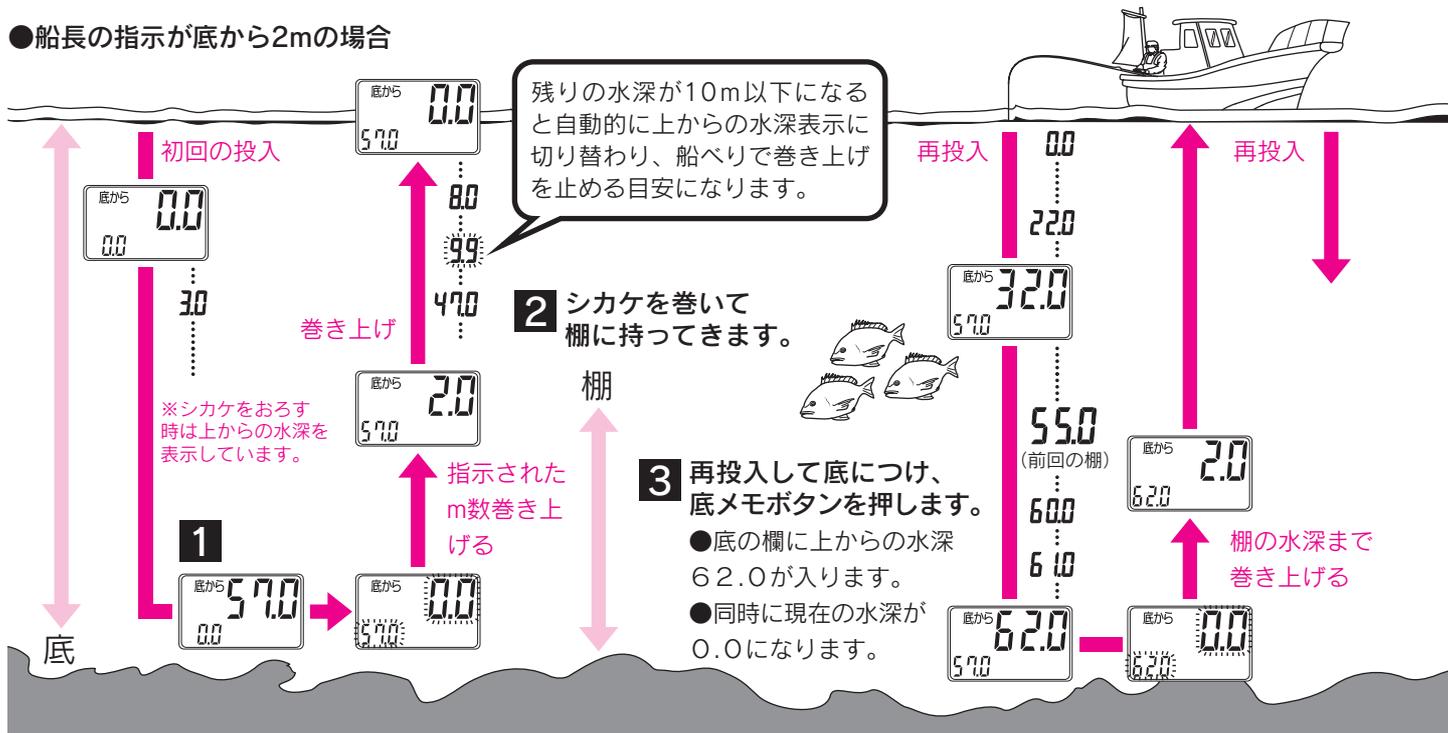
ＯＮボタンを押してください。
「上からモード」と「底からモード」が押すたび交互に切り替わります。

■上からモードの実釣編

●船長の指示が上から55mの場合

1 シカケをいったん底につけます。

2 シカケを巻いて棚に持ってきます。

3 「底メモ」ボタンを押して棚をメモリーします。
以上は底取りをして底の水深を知りたい場合ですが、直接指示の水深にシカケを投入し、底メモボタンで棚をメモリーすることも可能です。

4 再度投入します。

■底からモードの実釣編

1 **シカケをいったん底につけ、底メモボタンを押します。**

●底の欄に上からの水深が入ります。

●同時にメインカウンターの水深が0.0になります。

リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深を表すようになります。

解説！

船長の指示が「底から何m」といった場合、釣り人はシカケをいったん底まで降ろして指示されたm数だけシカケを上げます。（コマセ釣りの場合は通常この時にコマセを振ります。）
底の状態の変化に魚が平行して付いている釣場では、シカケの投入のたびにシカケを底に着けてから棚を取り直します。

■電池の交換方法

1 バッテリーアラームについて

B マークが点灯しましたら電池の交換時期です。市販のCR2032ボタン電池をお求めの上（電器店もしくは釣具店で）交換してください。なお、B マーク点灯後も釣行３～４回は使用可能です。“Err”の表示が出れば電池寿命です。

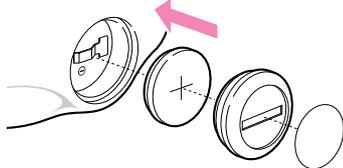
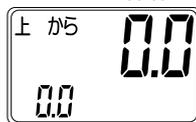
●交換時期

●電池寿命

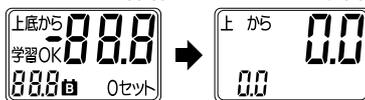
※図は上からモード時の表示です。（底からモードの場合もあります。）
※メーカー出荷時にリールに組み込まれているものはテスト用電池です。

2 電池の交換方法

あらかじめCR2032のボタン電池を購入の上、作業を進めてください。また、３分以内に作業を終了するようにしていただくと同時に、交換中はカウンターのボタンを押さないでください。入力されていたデータが消えることがあります。
※新品の電池を使用された場合、電池の寿命は約１年半です。

1. シールをはがし、バッテリーキャップをコインなどを利用してゆるめ、取り外します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池を入れます。（手前側が＋になるように）
4. バッテリーキャップをしっかりねじ込みます。（パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実にねじ込んでください。）
5. 付属品のシールをバッテリーキャップに貼り付けて下さい。
6. 電源を“ＯＮ”し、正しく電池が交換されているか、学習データが保存されているかを確認します。

※正しく交換されている場合、下図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、下図以外の表示が出たり全く表示されなかったりしますので、電池の仕様、＋－、接触等を確認してください。
※図は上からモード時の表示です。（底からモードの場合もあります。）

保存されていないと図の下段ように表示が変化します。保存されていなかった場合には、再度学習を行ってください。
（6～7ページ参照）

●データが保存されている場合

●データが保存されていない場合

交換時のご注意

- ●電池の交換中はカウンターのボタンを押さないでください。
- ●屋内の湿度の低い場所で行ってください。
- ●バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。
- ●電池の＋－をまちがえないようにしてください。
- ●リールに内蔵の電池はテスト用ですので寿命の短いことがあります。

■お取り扱い上の注意

デジタナＳＬＳは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。
また、釣行後の手入れを十分行ない、末永くご使用ください。

1 ご使用上の注意

●根掛かりしたときには、竿やリールで無理にあおらないで、糸を手にとって切るようにしてください。
手にタオル等を巻いて、手を保護してください。

●デジタナＳＬＳはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。

●リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

●バッテリーキャップは電池交換時以外には開閉しないでください。

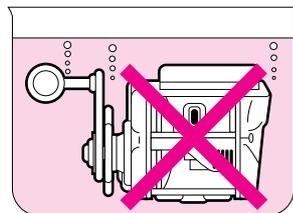
2 お手入れの方法

●各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

●リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートは絶対に分解しないでください。

●ハンドル部、切り換えレバーなどの可動部分には、リールオイルを注油してください。また、ドラグ部分には絶対オイルを付けないでください。オイルが入るとドラグ力が低下することがあります。ドラグ部分には水が入らないようにしてください。

●高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、左記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水をかけたり、水に浸したりしないでください。（カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水に浸したり、過度に水を掛けたりしないでください。）

3 故障かな？と思われたときは

●液晶が真っ黒、及び全文字が現れる場合…
高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。

●液晶が点灯しない場合…
ＯＮ／ＯＦＦボタンを押してください。
他のボタンでは点灯しません。
電池切れ、＋－のまちがいなどを確認してください。
（６、１３ページ参照）

●液晶表示がうすい場合…
室温にて確認下さい。低温（－５℃以下）にて使用の場合バッテリーの能力低下で表示がうすくなるときがあります。そうでない場合はバッテリーの寿命と考えられます。バッテリーマーク B を確認の上、電池を交換してください。
（１３ページ参照）

4 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力(kg)	自重(g)	糸巻量(号-m) 新素材デュラPE･( )内はナイロン糸	最大巻上速度(cm/ハンドル1回転)	スプール寸法(径mm/幅mm)	ボールベアリング
デジタナSLS小船300	RF343000	5.8:1	3.5	310	*2-100 2-150 2.5-120 3-100 (3-120 4-100)	64	35/26	7
デジタナSLS小船500	RF345000	5.8:1	3.5	305	3-180 *4-100 4-150 5-100 (5-130 6-100)	64	35/26	7

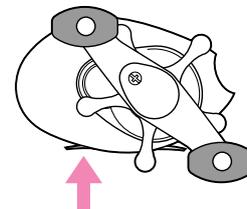
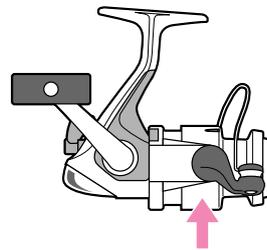
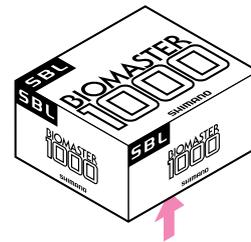
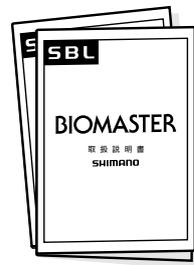
●標準付属品：布袋、プログラムプレート、糸通しピン、取扱説明書、分解図、予備のバッテリーカバーシール
●*印の糸巻量はスプールラインまで下巻が必要です。

■製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所、本社サービス課へお問い合わせください。

●ご自分で修理をされる場合（内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします）の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。

例／商品名　　：バイオマスター１０００
　　製品コード：ＳＣ３７１０００
　　部品番号　：２
　　部品名　　：スプール

〈製品コードの位置〉

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上５ケタを表示しています）

■安全上のご注意／サービスネット

安全上のご注意　ご使用前に必ずお読みください。

●ハンドルとボディの間に手をはさまれないように注意してください。
けがの原因となります。

⚠ 注　意

●糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切る原因になる恐れがあります。

●逆転防止付リールでストッパーをOFFにして釣っているとハンドルが逆転し、手に当たりけがの原因になる恐れがあります。

●レベルワインド付リールでは、糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがの原因になる恐れがあります。

●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないよう注意してください。

●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。

●回転している時、回転部分に触れないでください。けがの原因になる恐れがあります。

●スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る原因になる恐れがあります。

●糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないように注意してください。ヤケドや指をはさんでけがの原因になる恐れがあります。

●ドラグ装置を長時間連続使用すると、ドラグ収納部が熱くなる恐れがあります。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　仙台営業所
〒984 仙台市若林区中倉2-21-5(原田ビル1号)　TEL. (022) 232-4775

株式会社シマノ　大宮営業所
〒331 埼玉県大宮市三橋2-684-1　TEL. (048) 622-3815

株式会社シマノ　東京営業所
〒143 東京都大田区大森南1-17-17　TEL. (03) 3744-5656

株式会社シマノ　千葉営業所
〒284 千葉県四街道市美しが丘1-30-11　TEL. (043) 433-1780

株式会社シマノ　静岡営業所
〒410 静岡県沼津市錦町674　TEL. (0559) 62-3983

株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21　TEL. (052) 331-8666

株式会社シマノ　大阪営業所
〒660 兵庫県尼崎市元浜4-85　TEL. (06) 418-4541

株式会社シマノ　岡山営業所
〒700 岡山市青江930-12　TEL. (086) 264-6100

株式会社シマノ　広島営業所
〒734 広島県広島市南区翠1-11-6　TEL. (082) 255-8143

株式会社シマノ　四国営業所
〒768 香川県観音寺市流岡町1496-1　TEL. (0875) 23-2220

株式会社シマノ　九州営業所
〒841 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6　TEL. (0942) 83-1515

北海道釣具サービスセンター
〒065 札幌市東区北十条東1丁目　TEL. (011) 752-6622

株式会社シマノ釣具事業部
本　社：〒590-77 大阪府堺市老松町3丁77番地

● 商品の性能、スペックに関するお問い合わせ　TEL. (0722) 23-3739

● 広告、カタログ、イベントに関するお問い合わせ　TEL. (0722) 23-3466

釣具サービス課：〒592 大阪府堺市築港新町1-5-15

● 商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ

TEL. (0722) 43-2851 / FAX. (0722) 43-2860

Printed in Japan　013　PL 96-00